

※学・Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

知事 の学校訪問！ in 安楽島小

2015.6.23

知事が、三重の子どもたちの様子や授業改善の取組を見たり、学校現場の生の声を聴いたりして、今後の教育行政の推進に生かしていくため、体力や学力の向上に取り組んでいる鳥羽市立安楽島小学校を訪問しました。

●●● 「鳥羽市立安楽島小学校」の取組の特徴 ●●●

安楽島小学校は、体育科の授業における指導の工夫・改善を行い、陸上大会や相撲大会のための特別練習期間を放課後に設定するなど、子どもの体力向上に向けて取り組んでいる学校です。地域の指導者の支援も受け、児童一人ひとりが自己肯定感や達成感を味わうことができるよう指導を行っています。

● 体育科の授業における指導の工夫・改善

- ・ 「めあての提示」と「振り返り活動」を徹底している。
- ・ **学習カード**を活用し、スモールステップで達成感を味わわせている。
- ・ 人との関わりあいを大切にした授業を組み立て、**運動する喜び**を感じさせている。

● 休み時間における外遊びの推進（運動の日常化の推進）

- ・ 自発的な外遊びをすすめ、**業間かけあしやなわとび月間**などを設定したり、**縦割り班遊び**に運動会で行った種目を取り入れている。

● 全学年による継続した体カテストの実施と活用

- ・ 体カテスト実施後、「わたしの成長記録」（H23 県教委作成）を活用し、強みと弱みを見つけ、それに応じた指導を心がけている。

● 学校だよりを活用した家庭との連携

- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化や**徒歩通学**を推奨している。



●●● 意見交換より ●●●

知事：単に運動させるのではなく、めあてを示し、振り返る活動があり、子どもたちに気づきを与えていたのがよかったが、特に工夫したり、意識したりしていることは何ですか。

教諭：勝ち負けの意識よりも、どうすればよりよいチームプレーができるかという話し合いや、友だちのよかったところを発表して**認め合うこと**を大切にしています。

教諭：運動への苦手意識を持たせないよう、楽しんで行えるような授業を心がけています。親しみやすく、運動量の多いフラッグフットボールなど効果的な教材を使ったり、スモールステップ化して**自分たちの成長が分かる**ような授業を組み立てたりしています。

知事：安楽島小学校の体力向上の成果の要因をどのように考えていますか。

教諭：体カテストの**結果を分析**して、**課題を共有**し、**手立て**を取っています。「わたしの成長記録」を活用しているので、子どもたち一人ひとりが目標を持って取り組んでいることも要因として考えられます。

知事：今後、さらに向上させていくために取り組んでいきたいことはどんなことですか。

校長：子どもたち自身が体力の向上や「**できた**」という**実感**がもてるような授業づくりをすすめていきたいと考えています。また、徒歩通学をはじめとして、身近なところからの**運動の日常化**を定着させるとともに、それぞれの取組を継続して行っていくことが大切だと考えています。



知事 の学校訪問! in 秋田県

2015.6.25

「学力向上」に向けて!! ~ 秋田県の取組から学ぶ ~

秋田県では県内全ての小中学校において、授業の進め方、板書の仕方、ノートの取り方といった授業スタイルが統一されています。

授業スタイルの統一

【授業スタイルの基本型 ~ 西目中学校&西目小学校 ~】



	西目中学校	西目小学校
導入	導入 学習課題（疑問型・活動型）の設定 予想・見通し	つかみタイム（5分） 問題の題意を捉え、課題をつかむ 解決（方法・見当）の見通しをもつ
展開	自力思考 学び合い 考えを発表し合う →比較・検討・整理・判断 →考えを集約する	自分タイム（10分） 自分の力で考える つなぎタイム（15分） 小グループでの学び合い 全体での学び合い
終末	まとめ 学習課題の解答・学び深まったこと 振り返り評価 次時の確認	まとめタイム（15分） 今日の学習についてまとめる（論述） 摘要問題 振り返り

教科の特性及びねらいに応じた言語活動
ゆさぶりのある学力過程

小グループでの学び合い

- ・ペアやグループ（3人）で考えを見合う
- ・考えを比べ合う
- ・共通点や相違点を見つける
- ・問題点を明らかにする
- ・よりよい考え方がないか話し合う
- ・自分の考えを吟味する、修正する

全体での学び合い

- ・関連付けて考える
- ・分類する
- ・矛盾点を挙げる
- ・よりよいものに練り上げる

板書の工夫



学習課題 (赤枠)
まとめ (青枠)

問題	考え or 結果・考察	まとめ
学習課題 or めあて		● チェック (評価)
見通し or 予想 or 仮説	● 学び合い	振り返り
● 自力解決 or 実験		

ノート指導

1時間の授業で見開き

2ページが基本

自分なりの考え、工夫を自由に表現
友達の考えのよさ等を朱書き

今日の学びで賢くなった自分の変化
友達の考えのよさ
次の学習への期待

今日、学んだことを自分の言葉で表現すると?

自分たちでつくる「まとめ」

チェック問題による自己評価と個への支援
→ 練習問題
発展問題

● 行を空けながら、見やすく書く! ●

● 学校訪問を終えて 知事のコメント ●

授業スタイルが継続・一貫しているところが素晴らしいと思いました。

先生が問題を投げかけ、まずは自分で考えさせる。次にグループで考えさせ、最後に振り返って気づきをまとめる。

この授業スタイルが、小学校、中学校ともに共通理解・実践されており、それが、子どもたちの学ぶ意欲の向上にも繋がっていると感じました。

また、授業のやり方において、「考えを『揺さぶる』」という部分がありました。多様な意見を取り入れたり、いろいろな角度から物事を見せたりして、子どもたちの考えを揺さぶり、最後にまとめに持っていく授業方法がとても印象的でした。

今回の訪問で学んだこと、感じたことを三重の子どもたちの学力向上に向けて、活かしていきたいと思っています。

【事例6】松阪市立豊地小学校 全国学力・学習状況調査の結果を活かして

全国学力・学習状況調査の結果を学力向上につなげるために、調査問題だけでなく、児童質問紙についてもコピーをして、自校で集計しています。生活面と学習面をクロス分析し、課題を把握するとともに、調査問題の結果を踏まえた継続的な授業改善に取り組んでいます。

児童質問紙からのアプローチ

昨年度の取り組み

【課題】 ・ 「規則正しい生活」を送っていない児童が多く、自己肯定感が低い傾向がある
そこで・・・

- 家庭への意識づけのために「みえの学力向上県民運動」に係る「生活習慣チェックシート」を活用
- 家庭学習時間の基本を「10分×学年+10分」
- 学校でも家庭でも子どもたちのよいところや小さな成長を見つけ「ほめる」

その結果・・・



「毎日1時間以上勉強する子ども」が20ポイントUP!
「自分にはよいところがあると思える子ども」が20ポイントUP!

今年度の取り組み ～児童質問紙を自校で集計・分析～

- 家庭学習の質を高めるために、宿題の量や内容等について校内研修会で検討
- 子どもたちの失敗やつまずきを教師が大事にし、授業改善に活かす
- 子どもたちが情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動を充実



調査問題正答率からのアプローチ

昨年度の取り組み

【課題】 ・ 「書くこと」に苦手意識がある
・ 解答する時間が足りない
・ 無解答が多い

そこで・・・

- 授業における「めあて」の明確化と「振り返り」の活動を習慣化
- 「書く」活動を充実
 - 【国語】様々な条件に合わせて書く活動
 - 【算数】言葉や数、式を使って自分の考えを順序よく説明し、書く活動
- 「まなびばセット（県教委作成ワークシート、過去の調査問題等）」を繰り返し活用

→ 明確になった課題やつまずきを学び直して克服！

その結果・・・



国語、算数とも昨年度と比べ、平均正答率が大きくUP!
無解答がほとんどなくなった

今年度の取り組み

- 算数科の授業の中でも、言葉や数、式を使いながら、自分の考えを順序よく説明したり、書いたりする活動を充実
- 算数の計算ミスを減らすため、「音読計算」を全学年で実施




松阪市立豊地小学校長からのコメント

全国学力・学習状況調査を生活面、学習面から分析し、成果と課題を明確にして、継続的に改善を進めていくことが大切だと考え、児童質問紙についても自校で集計し、昨年度と比較しました。その結果、昨年度の取り組みが実を結んでいたことがわかり、職員の意欲向上にもつながりました。

また、早い時期に本年度取り組むべき新たな課題が明確になり、児童質問紙を自校で集計したことは意義があったと考えています。

「自校採点結果」から見えてきた課題の状況【小学校編】

平成 27 年度自校採点結果と平成 26 年度全国学力・学習状況調査結果の比較

● ● ● 課題に応じたワークシート  (県教委作成) の活用を ● ● ●

国語 A

「書くこと」「言語文化」の領域については昨年度より上回っていますが、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域については下回っています。

↑【問題一 3、二 3：漢字を読んだり書いたりする】

↓【問題 5 二：新聞のコラムを読む】



5年 読むこと 「筆者の主張を正確にとらえて読もう」

要旨を捉えながら読む学習の充実を！

目的や意図に応じ、内容を整理しながら書く学習の充実を！

国語 B

「書くこと」「読むこと」の領域で上回っていますが、依然課題は残っています。

【問題 1 三：目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉】



5年 書くこと 「メモをもとに新聞記事を書こう」

算数 A

すべての領域において、昨年度と同様の正答率ですが、「問題の根拠となる図形の性質を判断すること」に課題が見られます。

【問題 5：円と二等辺三角形】



3年 図形 「どんな三角形かな」

事柄が成り立つことの根拠を、図形の性質を基に考え、説明する学習の充実を！

目的に応じて見積もり方を選択し、その結果を用いて判断し、説明する学習の充実を！

算数 B

すべての領域において下回っており、特に「数と計算」の領域においては大きな開きが見られます。

【問題 4：見積もりの仕方と結果の判断（キャップ集め）】



4年 数と計算 「およその数・がい数を使おう」

理科

「エネルギー」「地球」の領域で上回っていますが、「物の溶け方には規則性があり、物が水に溶ける量は水の温度や量によって違うことを理解している」ことや、「析出量を分析するためにグラフを適切に読み取り考察する」ことに課題が見られます。

↑【問題 1：エネルギーに関する問題】 【問題 4：地球に関する問題】

↓【問題 3（6）：物の溶け方の規則性】 ※平成 24 年度との比較



5年 物の溶け方 「水の温度と物が溶ける量」

結果から言えることを、科学的な言葉や概念を使い、まとめる学習の充実を！

自校採点に取り組んで ～ 学校からの声 ～

- 全教員で採点に取り組んだところ、**教員全体に問題意識が広がってよかった。**
- **児童に付けなくてはいけない力が明確になり、授業計画を見直した。**
- **学校全体で結果を共有し、ワークシートを活用した補充学習を全学年で始めた。**
- 調査問題だけでなく、**児童質問紙もコピー**をとって自校で集計し、分析結果を授業改善に活かした。